

世界史 1/13

第1問

古代の宗教について述べた次の文章を読み、以下の問い（問1～6）に答えよ。

(a)古代の西アジアは多神教の世界であった。諸民族、諸国家の交流によって、それぞれの民族が神々を取捨選択しながら、宗教や神話をつくっていった。バビロン捕囚からの解放後に確立したユダヤ教は一神教であるが、その教典『旧約聖書』の「創世記」が伝えるバベルの塔はシュメール起源の①とされ、ノアの洪水伝説もウルク王の冒険を描いた『ギルガメシュ叙事詩』が原型といわれる。

その最盛期にはティグリス川までを領土としたローマ帝国では、ギリシアの神々が受け入れられ、エジプトのイシス神やインド・ペルシア起源のミトラ神など東方起源の神々も信仰された。1世紀初め、ユダヤ教から派生したキリスト教もその一つである。(b)ローマ皇帝への礼拝を拒むキリスト教徒は当初迫害されていた。しかし、4世紀前半に②帝により公認され、325年の③公会議でアタナシウス派が正統教義となり、同世紀末の④帝の時代に国教となった。正統教義の確立には教父が大きな役割を果たしたが、異端とされた諸宗派もペルシア、シリア、エジプトなどで独自に発展していった。

インドでは、前5世紀頃にバラモンの支配に対して新たな思想が生まれた。仏教と⑤を開祖とするジャイナ教である。前4世紀後半、チャンドラグプタ王が⑥を都にマウリヤ朝を建て、⑦と戦ってアフガニスタンを獲得し、大帝国を築いた。仏教はこの王朝の保護を受け、スリランカにも伝えられた。1世紀には西北インドにクシャーナ朝が成立し、2世紀に最盛期を迎えた。東西交易路を支配したこの王朝の時代には、国際色豊かな文化が生まれた。また、ガンダーラ地方ではヘレニズム文化の影響を受けた仏教美術が開花し、大乘仏教とともに中央アジアを経て東アジアに伝えられた。クシャーナ朝が滅亡したのち、4世紀に北インドでは(c)グプタ朝がおこった。この時代には、バラモン教に先住民の土着信仰などが融合した(d)ヒンドゥー教が確立したが、仏教やジャイナ教もなお盛んであった。戒律の経典を求め、中国僧の⑧がインドを訪れたのは、この王朝の最盛期の王⑨の時期である。

中国では、紀元前後に仏教が伝来し、魏晋南北朝時代に本格的に広まった。また、この時代には中国独自の宗教である道教が成立した。道教は、中国古来の神仙思想と道家の思想などをもとに生まれた宗教で、華北を統一した北魏の⑩帝は道教を信奉し、仏教弾圧を行った。(e)隋唐時代には、儒教・仏教・道教の三教がそれぞれ独自に発展した。日本には朝鮮半島を経て6世紀に仏教が伝来し、8世紀には遣唐使などを通じて唐文化が受容され、仏教文化が栄えた。

世界史 $\frac{2}{13}$

問1 文章中の空欄 ㉠ ～ ㉩ に入れるのに最も適当な語を以下の〔語群〕から選び、記号で答えよ。

〔語群〕

ア ミナレット	イ ジググラト	ウ エフェソス
エ ニケーア	オ カビール	カ テオドシウス
キ デイオクレティアヌス	ク ナーナク	ケ コンスタンティヌス
コ ユリアヌス	サ プルシャプラ	シ パルティア
ス ヴァルダマーナ (マハーヴィーラ)	セ セレウコス朝	ソ パータリプトラ
タ バクトリア	チ 義浄	ツ 孝文
テ ハルシャ王	ト 法顕	ナ チャンドラグプタ 1 世
ニ 玄奘	ヌ カニシカ王	ネ 太武
ノ チャンドラグプタ 2 世		

問2 下線部(a)について述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア アッカド人はシュメール人の都市国家を征服し、メソポタミア最初の統一国家を建てた。
- イ 新バビロニア (カルデア) はイスラエル王国を滅ぼし、バビロン捕囚を行った。
- ウ 小アジアに栄えたメディアは、最古の金属貨幣を使用した。
- エ エジプトの新王国時代のアメンホテプ 4 世は、唯一神アモンの信仰を強制した。

問3 下線部(b)について、3世紀にローマ帝国と戦い、ローマ皇帝ウァレリアヌスを捕虜としたササン朝の王の名を答えよ。

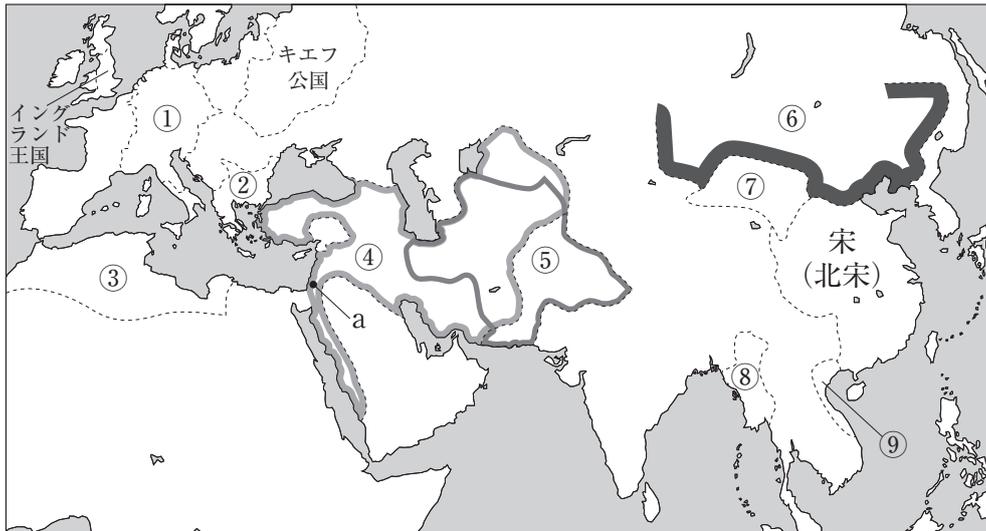
問4 下線部(c)について、5世紀中頃からグプタ朝に侵入し、王朝の衰退を招いた中央アジアの騎馬遊牧民を答えよ。

問5 下線部(d)について、7世紀頃から盛んになり、仏教が衰退する一因となった、シヴァ神やヴィシュヌ神への絶対的帰依を説くヒンドゥー教の宗教運動を何というか、答えよ。

問6 下線部(e)について、唐の太宗の命で孔穎達らが編纂した儒学の注釈書の書名を答えよ。

第2問

11世紀の世界を示した次の地図について、以下の問い（問1～15）に答えよ。なお、地図中の①～⑨は国、あるいは王朝を示している。



11世紀における地域間交渉

問1 イングランドでは、11世紀後半のノルマン＝コンクエストによりノルマン朝が成立したが、ノルマン人について述べた次の文aとbの正誤の組合せとして正しいものを、下のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- a クヌート（カヌート）が率いる一派がノルマンディー公国を建てた。
- b キエフ公国のウラディミル1世がギリシア正教を国教とした。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|---|-----|-----|
| ア | a－正 | b－正 | イ | a－正 | b－誤 |
| ウ | a－誤 | b－正 | エ | a－誤 | b－誤 |

世界史 $\frac{4}{13}$

問2 地図中の①の状況について述べた次の文章中の空欄 ・ に入れる語の組合せとして正しいものを、下のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

教会改革を掲げるローマ教皇 は世俗権力の教会への介入を排除することをめざした。他方、地図中の①では、教会組織を皇帝権の支配下におく帝国教会政策がとられていたため、教皇と①の皇帝との間で をめぐる対立がおこった。

- | | | |
|---|--------------|------------|
| ア | あーグレゴリウス7世 | いー聖職叙任権 |
| イ | あーグレゴリウス7世 | いー聖職者への課税権 |
| ウ | あーボニファティウス8世 | いー聖職叙任権 |
| エ | あーボニファティウス8世 | いー聖職者への課税権 |

問3 地図中の②で11世紀に導入された土地制度を、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- | | | | |
|---|-----------|---|----------|
| ア | エンコミエンダ制 | イ | プロノイア制 |
| ウ | 軍管区制（テマ制） | エ | マンサブダール制 |

問4 11～12世紀のヨーロッパ社会について述べた文として誤っているものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 三圃制が普及し、農業生産力が向上した。
- イ ローマやサンチャゴ＝デ＝コンポステラなどへの聖地巡礼が流行した。
- ウ 黒死病（ペスト）の大流行で労働力が減少し、農民の地位が向上した。
- エ ジェノヴァなどのイタリア諸都市が東方貿易（レヴァント貿易）によって栄えた。

問5 地図中の都市 a に11世紀末に建てられた十字軍国家を答えよ。

問6 地図中の③について述べた次の文章中の空欄 ・ に入れる語の組合せとして正しいものを、下のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

地図中の③は、モロッコを中心にベルベル人が建てた王朝で、 を都とし、サハラ以南の 王国を攻撃した。また、イベリア半島にも進出した。

- | | | |
|---|----------|-------|
| ア | うーモガディシュ | えーマリ |
| イ | うーモガディシュ | えーガーナ |
| ウ | うーマラケシュ | えーマリ |
| エ | うーマラケシュ | えーガーナ |

世界史 $\frac{5}{13}$

問7 地図中の④について述べた文として誤っているものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア バグダードに入城し、シーア派のブワイフ朝を倒した。
- イ トゥグリル＝ベクはアッバース朝カリフからスルタンの称号を授けられた。
- ウ 主要都市にニザーミーヤ学院を設け、スンナ派神学の振興をはかった。
- エ 俸給の代わりに土地の徴税権を与えるイクター制を創始した。

問8 地図中の⑤は、サーマーン朝のマムルークが建てた王朝で、この王朝が西北インドへ侵入したことが、インドのイスラーム化の端緒となった。この王朝の名を答えよ。

問9 地図中の⑥について述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 完顔阿骨打が女真（女直）を統一して建国した。
- イ 中国東北地方の渤海を滅ぼした。
- ウ 後梁の建国を援助し、燕雲十六州を獲得した。
- エ 自民族は猛安・謀克で、漢人は州県制で統治した。

問10 北宋は地図中の⑥と毎年多額の銀や絹を贈ることを条件に和議を結んだが、この和議を何というか、答えよ。

問11 11世紀、北宋の第6代皇帝神宗に起用され、新法とよばれる富国強兵政策を断行した政治家の名を答えよ。

問12 宋代の社会と経済について述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 明州や泉州などには海上交易を管理する総理各国事務衙門（総理衙門）がおかれた。
- イ 銅銭が大量に鑄造されて、海外にも輸出された。
- ウ 中国商人がダウ船を用いて南シナ海に進出した。
- エ 占城稻が導入され、トウモロコシやサツマイモが栽培されるようになった。

問13 地図中の⑦を建てた民族の名を答えよ。

世界史 $\frac{6}{13}$

問14 地図中の⑧は、11世紀に成立したビルマ人による初の統一王朝である。この王朝について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- a 上座部仏教を信仰し、多くの仏塔・寺院を建立した。
- b 元の侵入を受け、衰退した。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|---|-----|-----|
| ア | a－正 | b－正 | イ | a－正 | b－誤 |
| ウ | a－誤 | b－正 | エ | a－誤 | b－誤 |

問15 11世紀初めに成立した地図中の⑨は、宋の文化を導入して国家建設をはかった。地図中の⑨の王朝の名を答えよ。

世界史 7/13

第3問

世界史上の宮殿について述べたA～Cの文章を読み、以下の問い（問1～15）に答えよ。

A パリの南西郊外のヴェルサイユに造営された宮殿がヴェルサイユ宮殿である。(a)ルイ14世は1682年にこの王宮に移ったが、以後、ヴェルサイユ宮殿は政治の中心であるだけでなく、王の権威を内外に誇示する装置となった。王のすべての行為が権力の儀礼としての意味を持ち、数千人の貴族が序列に従ってそれに参加した。「太陽王」と称されたルイ14世の威光はヨーロッパ全域に及び、フランス語が国際語となり、華やかな(b)宮廷文化は各国のモデルとなった。

18世紀に主流となった(c)様式を代表する宮殿が、(d)プロイセンのフリードリヒ2世がポツダムに建設した(e)サンサーシ宮殿である。この王の時代に、プロイセンはオーストリア継承戦争、(f)七年戦争を戦い、ヨーロッパの強国となった。

問1 下線部(a)について述べた次の文aとbの正誤の組合せとして正しいものを、下のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- a 宰相リシュリューがハプスブルク家に対抗し、三十年戦争に介入した。
- b ユトレヒト条約でニューファンドランドをイギリスに割譲した。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|---|-----|-----|
| ア | a－正 | b－正 | イ | a－正 | b－誤 |
| ウ | a－誤 | b－正 | エ | a－誤 | b－誤 |

問2 下線部(b)について、宮廷では演劇が娯楽として発展したが、ルイ14世の庇護を受けた古典主義を代表する喜劇作家として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア コルネイユ イ ラシーヌ ウ ワトー エ モリエール

問3 文章中の空欄(c)に入れるのに最も適当な語を答えよ。

問4 下線部(d)について述べた次の文aとbの正誤の組合せとして正しいものを、下のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- a ブランデンブルク選帝侯国がプロイセン公国と合邦して成立した。
- b 地主貴族のユンカーが統治の支柱であった。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|---|-----|-----|
| ア | a－正 | b－正 | イ | a－正 | b－誤 |
| ウ | a－誤 | b－正 | エ | a－誤 | b－誤 |

世界史 $\frac{8}{13}$

問5 下線部(e)について、フリードリヒ2世に招かれ、この宮殿に滞在したフランスの啓蒙思想家とその著作の組合せとして正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア ヴォルテール — 『法の精神』
- イ ヴォルテール — 『哲学書簡』 (『イギリス便り』)
- ウ モンテスキュー — 『法の精神』
- エ モンテスキュー — 『哲学書簡』 (『イギリス便り』)

問6 下線部(f)について、この戦争では、オーストリアが長年敵対してきたフランスと同盟を結んだが、この国際関係の変化を何というか、答えよ。

B イスタンブル旧市街にあるトプカプ宮殿は、19世紀半ばまでオスマン帝国の歴代スルタンの居城であり、^(g)帝国の政治の中心であった。コンスタンティノープルを陥落させ、この地に遷都した が宮殿の造営に着手し、1478年に完成、その後、増改築が繰り返されてきた。16世紀、オスマン帝国は⁽ⁱ⁾マムルーク朝を滅ぼし、メッカ・メディナの両聖都を保護下において名実ともにイスラーム世界の盟主となった。ヨーロッパ、アジア、アフリカに領土を有する帝国は、^(j)スレイマン1世のもとで最盛期を迎えた。トプカプ宮殿にのこる中国や日本の陶磁器類や、宝石などの豪華な装身具は、ヨーロッパの国際政治を左右する勢威を誇った帝国の栄華を今に伝えている。

問7 下線部(g)について、オスマン帝国の政治について述べた次の文章中の空欄 ・ に入れる語の組合せとして正しいものを、下のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

イスラーム法にもとづく統治が行われ、イスラーム法に精通した がその体制を支えた。また、バルカン半島のキリスト教徒の子弟を徴用し、イスラーム教に改宗させ英才教育をした上で高級官僚やイエニチェリに登用する 制がとられた。

- ア あーマワーリー いーティマール イ あーマワーリー いーデヴシルメ
- ウ あーウラマー いーティマール エ あーウラマー いーデヴシルメ

問8 文章中の空欄 に入れるのに最も適当な人名を答えよ。

世界史 $\frac{9}{13}$

問9 下線部(i)の王朝について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- a モンゴル軍の侵攻を撃退した。
- b 十字軍をシリアから駆逐した。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|---|-----|-----|
| ア | a－正 | b－正 | イ | a－正 | b－誤 |
| ウ | a－誤 | b－正 | エ | a－誤 | b－誤 |

問10 下線部(j)の時代について述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア ニコポリスの戦いでハンガリー王が率いる連合軍に勝利した。
- イ ハプスブルク家のカール5世に対抗し、フランス王と結んだ。
- ウ オーストリアとカルロヴィッツ条約を結んだ。
- エ レパントの海戦でスペイン・ヴェネツィアなどの連合艦隊に敗れた。

C 北京の故宫はかつて紫禁城とよばれ、明・清代にわたり多くの皇帝が居住した。紫禁城という名は、北斗星の北の紫禁星が天帝の居所とみなされたことにちなむ。明初には_(k)洪武帝が南京を都としたが、3代目の永楽帝が北京に遷都する際に紫禁城が築かれた。永楽帝は $\square(1)$ をおこし、帝位を奪って即位したが、その治世はモンゴル討伐などの対外遠征を行い、鄭和の南海諸国遠征により_(m)朝貢を促した。また、運河を改修して江南と結び、_(n)経済的繁栄の基礎を築いた。同時期、_(o)チベットでは黄帽派がおこり、16世紀にモンゴルを支配したタタールの $\square(p)$ がその指導者にダライ＝ラマの称号を贈った。ラサのポタラ宮殿は、17世紀にダライ＝ラマ5世が造営して以後、チベットの政治・宗教の中心地となった。

問11 下線部(k)について、この皇帝が皇帝独裁体制を強化するために行った政策について述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 中書省を廃止して六部を皇帝に直属させた。
- イ 村落行政制度として三長制を定めた。
- ウ 兵制として軍戸から軍隊を編制する千戸制を定めた。
- エ 土地台帳として賦役黄冊がつくられた。

世界史 $\frac{10}{13}$

問12 文章中の空欄 (I) ・ (P) に入れる語の組合せとして正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア (I)ー靖康の変 (P)ーアルタン＝ハン
- イ (I)ー靖康の変 (P)ーエセン＝ハン
- ウ (I)ー靖難の役 (P)ーアルタン＝ハン
- エ (I)ー靖難の役 (P)ーエセン＝ハン

問13 下線部(m)について、明に朝貢した国について述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 足利義満が「日本国王」に封ぜられ、明と朱印船貿易を始めた。
- イ マラッカ王国がインド洋と南シナ海を結ぶ交易拠点として発展した。
- ウ 朝鮮では、建国者の李成桂により訓民正音（ハングル）が制定された。
- エ 中継貿易で繁栄した琉球では、両班が党争を繰り返した。

問14 下線部(n)について、明代の社会と経済について述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 同郷・同業の商人が都市に行・作とよばれる施設を設けた。
- イ 山西省の景德鎮では輸出品として陶磁器が生産された。
- ウ マニラとの交易でメキシコ銀が流入し、地丁銀制が実施された。
- エ 長江下流域では綿花や桑など換金作物がつくられ、綿織物業や生糸生産が盛んになった。

問15 下線部(o)について述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 7世紀にツォンカパがチベット諸族を統合して統一国家を建てた。
- イ ソンツェン＝ガンボが黄帽派チベット仏教を開いた。
- ウ 清はチベットを藩部とし、理藩院の管理のもとで間接統治を行った。
- エ チベット反乱でダライ＝ラマ14世は中国に亡命した。

世界史 $\frac{11}{13}$

第4問

19世紀のアメリカ合衆国について述べた次の文章を読み、以下の問い（問1～6）に答えよ。

独立後のアメリカ合衆国は、19世紀前半のイギリスとの戦争をきっかけに工業化が進み、経済的にもイギリスから自立した。ラテンアメリカ諸国の独立にあたっては、1823年にモンロー教書を発表してヨーロッパ諸国のラテンアメリカ諸国への干渉を牽制した。

19世紀のアメリカ合衆国は領土を大幅に拡大させていった。1803年にフランスから [①] を買収して以降、1845年にはメキシコから [②] を併合、さらに、アメリカ＝メキシコ戦争に勝利して1848年には [③] を獲得した。西海岸に領土を拡大したことで太平洋への関心も高まり、1854年には [④] を結んで日本を開国させた。

しかし、^(a)西部への領土の拡大は、南部と北部の政治的・経済的対立を深刻化させることになった。黒人奴隷を労働力とするプランテーションに立脚する南部は、綿花の輸出拡大を背景に [⑤] を求めたが、商工業が発達した北部は、奴隷制の廃止と工業製品の輸入制限のために [⑥] を主張した。

また、南部と北部は西部で新たな州が生まれるたびに、その州で奴隷制を認めるか否かをめぐって争った。1854年、奴隷制拡大に反対の立場をとる [⑦] 党が結成されると、南北の対立はいっそう激化した。1860年にこの党のリンカンが大統領に当選すると、南部諸州は合衆国から離脱し翌1861年、アメリカ連合国を建て、ついに^(b)南北戦争が勃発した。この戦争は1865年に南軍の降伏で終結したが、60万人以上の人々が戦死した。

南北戦争後、アメリカ合衆国では南部の再建が進み、1869年の大陸横断鉄道開通により国内市場の結びつきが強まった。また、^(c)多くの外国人移民がアメリカ合衆国へ流入し、アメリカ合衆国の経済を支えた。この発展の陰で、先住民はアメリカ社会から完全に排除され、奴隷身分から解放された^(d)黒人の多くは白人農場主の小作人とならざるを得ず、南部諸州では黒人差別法が次々に制定された。

フロンティアの消滅後、アメリカ合衆国はラテンアメリカ、カリブ海地域への進出を積極化していった。1889年、アメリカ合衆国は [⑧] 会議を主催してラテンアメリカへの勢力拡大をめざした。 [⑨] 大統領のもと、アメリカ＝スペイン（米西）戦争に勝利したアメリカ合衆国はプエルトリコ・^(e)フィリピン・グアムを獲得し、キューバを事実上の保護国とした。また、1898年には [⑩] を併合、さらに、門戸開放宣言を出し、中国進出にも乗り出した。

世界史 $\frac{12}{13}$

問1 文章中の空欄 ㉠ ~ ㉩ に入れるのに最も適当な語を以下の〔語群〕から選び、記号で答えよ。

〔語群〕

- | | | |
|------------------|-----------|------------|
| ア フロリダ | イ テキサス | ウ オレゴン |
| エ ミシシッピ川以西のルイジアナ | オ ハワイ | カ パナマ |
| キ アラスカ | ク カリフォルニア | ケ 共和 |
| コ 民主 | サ ホイッグ | シ ワシントン |
| ス ドミニカ | セ パン＝アメリカ | ソ 大陸 |
| タ 自由貿易 | チ ドル外交 | ツ マッキンリー |
| テ 重商主義政策 | ト 保護関税政策 | ナ 日米修好通商条約 |
| ニ ウィルソン | ヌ 日米和親条約 | |
| ネ セオドア＝ローズヴェルト | | |

問2 下線部(a)について、アメリカ合衆国による西部開拓を正当化するために掲げられたことばを5字で答えよ。

問3 下線部(b)について、南北の対立及び南北戦争について述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 北部は反連邦主義（州権主義）をとなえ、南部は連邦主義をとなえた。
- イ 北部は西部の支持を得るため、カンザス・ネブラスカ法を制定した。
- ウ 北軍は当初苦戦したが、ゲティスバーグの戦いで勝利し優勢となった。
- エ 南北戦争終結後、奴隷解放宣言が公布され、奴隷制度が廃止された。

問4 下線部(c)について、1840年代のジャガイモ飢饉により、アメリカ合衆国へ大量の移民が生じた国を答えよ。

問5 下線部(d)について、南部で普及したこの小作人制度を何というか、答えよ。

問6 下線部(e)について、スペインからの独立運動に参加し、アメリカ＝スペイン（米西）戦争後にフィリピン共和国の独立を宣言して、反米闘争を指揮したフィリピンの独立運動の指導者の名を答えよ。

世界史 $\frac{13}{13}$

第5問

次の問1, 2について, それぞれ120字以内で答えよ。

問1 1938年に開催されたミュンヘン会談について, 会談にいたる経緯, 会談における合意事項を示しながら, 次の語句を必ず使用して, 説明しなさい。

チェコスロヴァキア チェンバレン

問2 1956年におこった第2次中東戦争について, この戦争がおこったきっかけと参戦した国名, またこの戦争がアラブ社会に与えた影響を示しながら, 次の語句を必ず使用して, 説明しなさい。

ナセル アラブ民族主義

下 書 用 紙